

甲 第 号

中西 佑季子 学位請求論文

審 查 要 旨

奈 良 県 立 医 科 大 学

論文審査の要旨及び担当者

	委員長	教授	田中 利洋
論文審査担当者	委員	教授	田中 康仁
	委員(指導教員)	教授	浅田 秀夫

主論文

Ultrasonographic findings in nevus lipomatosus cutaneous superficialis: What differentiates this tumor from other soft tissue tumors?

表在性皮膚脂肪腫性母斑の超音波所見：この腫瘍と他の軟部腫瘍との鑑別点は？

Yukiko Nakanishi, Satoru Shinkuma, Yasuhiro Mitsui, Kohei Ogawa, Toshiko Hirai,
Hideo Asada, Chinatsu Shobatake

The Journal of Dermatology. 2024 Jan;51(1):56-61.

論文審査の要旨

表在性皮膚脂肪腫性母斑は真皮内の異所性脂肪組織の増生を特徴とする良性腫瘍であり、臨床的に脂肪腫や神経線維腫のような隆起する軟性腫瘤との鑑別が困難である。特に多発型では脂肪肉腫と特徴が類似する。

本研究では、表在性皮膚脂肪腫性母斑 8 症例について検討し、この腫瘍に特徴的な高周波エコー所見を明らかにすることを目的とした。その結果、真皮に境界不明瞭、内部不均一な高エコー腫瘤を認め、後方エコーの減衰を伴うことが明らかとなった。この特徴は臨床的に類似した他の皮下腫瘤のエコー像と異なり、有力な鑑別点となり得る。本研究は、表在性皮膚脂肪腫性母斑の鑑別診断に高周波エコー所見が有用である可能性を示した有意義な研究であると評価できる。

公聴会では、後方減衰の程度と組織型の関連性、走査手技の標準化、加齢に伴うエコー像の違い、脂肪肉腫との鑑別、診断精度向上に向けての戦略などについて質問があったが、何れの質問に対しても的確に回答していた。

本研究では表在性皮膚脂肪腫性母斑の超音波所見を初めて明らかにし、臨床的に類似した他疾患との鑑別診断に有用である可能性を示唆した。皮膚科領域における超音波検査の今後のさらなる発展が期待され、医学博士の学位に値すると評価する。

参 考 論 文

1. Primary cutaneous follicle center lymphomas with high Ki-67 indices arising on the arm and leg.

Miyagawa F, Ogawa K, Kurimoto T, Nakajima A, Himuro Y, Asada H.

J Dermatol. 2020 Jul;47(7):e278-e280.

2. Predominant Contribution of CD4 T cells to Human Herpesvirus 6 (HHV-6) Load in the Peripheral Blood of Patients with Drug-induced Hypersensitivity Syndrome and Persistent HHV-6 Infection.

Miyagawa F, Nakamura Y, Ommori R, Miyashita K, Iioka H, Miyashita N, Nishikawa M, Himuro Y, Ogawa K, Asada H.

Acta Derm Venereol. 2018 Jan 12;98(1):146-148.

3. Preferential expression of CD134, an HHV-6 cellular receptor, on CD4T cells in drug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS)/drug reaction with eosinophilia and systemic symptoms (DRESS).

Miyagawa F, Nakamura Y, Miyashita K, Iioka H, Himuro Y, Ogawa K, Nishimura C, Nishikawa M, Mitsui Y, Ito Y, Ommori R, Mori Y, Asada H.

J Dermatol Sci. 2016 Aug;83(2):151-154.

4. Hypersensitivity to influenza vaccine in a case of Epstein-Barr virus-associated T-lymphoproliferative disorder.

Himuro Y, Miyagawa F, Fukumoto T, Morii T, Hasegawa M, Kobayashi N, Asada H.

Br J Dermatol. 2015 Jun;172(6):1686-1688.

5. 腎移植後の患者に生じた右大腿皮膚ノカルジア症

楠本 百加[菅野], 中西 佑季子, 松本 優香, 浅田 秀夫, 飯岡 弘至,
萬木 聡

皮膚病診療 40 卷 7 号 Page675-678(2018.07)

6. 術前に超音波検査を施行した Spiradenoma

中西 佑季子, 正畠 千夏, 小川 浩平, 伊藤 宗一郎, 平井 都始子,
浅田 秀夫

皮膚病診療 39 卷 11 号 Page1157-1160(2017.11)

7. Spindle cell hemangioma の 2 例

氷室 佑季子, 小川 浩平, 中西 崇詞, 浅井 英樹, 正畠 千夏, 飯岡
弘至, 宮川 史, 平井 都始子, 福本 隆也, 浅田 秀夫

皮膚の科学 14 卷 6 号 Page411-416(2015.12)

8. 鼻尖部に生じた follicular SCC の 1 例

宮川 史, 氷室 佑季子, 小川 浩平, 桑原 理充, 小林 信彦, 浅田
秀夫

Skin Cancer 29 卷 3 号 Page289-292(2015.02)

以上、主論文に報告された研究成績は、参考論文とともに皮膚病態医学の進歩に寄与するところが大きいと認める。

令和6年3月5日

学位審査委員長

画像診断学・低侵襲治療学

教授 田中 利洋

学位審査委員

運動器再建医学

教授 田中 康仁

学位審査委員(指導教員)

皮膚病態医学

教授 浅田 秀夫